

第1回企画等専門調査会(平成23年11月21日)資料
 「<平成23年度>食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について(案)」抜粋

評価課題／危害要因	危害要因に関する概要等	国内外における評価状況、管理状況等
カルニチン	<p>・独立行政法人国立健康・栄養研究所:「健康食品」の安全性・有効性情報 http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail603lite.html</p> <p>カルニチンは、昆虫の成長因子として見つかったアミノ酸の一種。安全性については、適切に経口摂取する場合はおそらく安全と思われる。妊娠中の安全性については信頼できる十分なデータがないので使用を避ける。血液透析、無尿症、尿毒症、慢性肝疾患の場合には使用を避ける。</p>	<p><国内></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品安全委員会による評価状況:なし。 ・厚生労働省:「健康食品」の安全性・有効性データベースについて平成16(2004)年7月14日食安新発第0714001号「健康食品」については、国民の健康に対する関心が高まるとともに、健康と食に関する情報が氾濫するようになり、中には、過剰摂取や過度の痩身行為などの偏った食生活を導く不適正な情報あるいは非科学的な情報も増え、国民の混乱を招いているとの指摘が少なくありません。こうした状況を改善するため、本年6月9日にまとめられた「健康食品」に係る今後の制度のあり方に関する検討会」の提言においても、普及啓発として「健康食品」の有効性・安全性について中立的な情報提供を行うデータベース等を活用すべきである」とされています。 今般、その「健康食品」の安全性・有効性データベースが独立行政法人国立健康・栄養研究所のホームページに開設されました。 ・独立行政法人国立健康・栄養研究所:ホームページ「健康食品」の安全性・有効性情報 http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail603lite.html <p><海外></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ・ダイエタリーサプリメント局 http://ods.od.nih.gov/factsheets/Carnitine-HealthProfessional <p>カルニチンの過剰リスクはあるか？</p> <p>約3gカルニチンサプリメント/日の用量で、吐き気、嘔吐、腹部痙攣、下痢、魚臭さがある。まれな副作用は、尿毒症性疾患で筋力低下がある。健康な子供と大人は、肝臓や腎臓でアミノ酸のリジンやメチオニンから十分産生されるので、食物やサプリメントからカルニチンを消費する必要はない。(2011年9月)</p>